

- 問1 震災からの復興過程における土地利用の変化を説明した記述として、最も適切なものはどれですか。なお、ある地域の統計資料では、海岸付近にあった駅が内陸側へ移動して整備され、鉄道が開通したことや、背後の丘陵地に多くの建物が新設されている状況が示されているものとし
ます。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 公共交通機関を廃止し、自家用車利用を前提とした広大な道路網を丘陵地に整備した。
 2. 通学の利便性を最優先し、すべての学校を駅から最も離れた東側の海岸付近に移転させた。
 3. 将来の津波被害を軽減し、住民の安全を確保するために居住地を高台へ移動させた。
 4. 食料自給率を向上させるため、被災した居住地跡をすべて大規模な水田に造成した。
- 問2 日本列島の周辺を流れる海流のうち、太平洋を北上する黒潮（日本海流）から分かれ、九州の北側を通して日本海へと流れ込み、沿岸を北上する暖流の名称を次の中から選びなさい。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
1. 対馬海流
 2. 親潮（千島海流）
 3. 千島海流
 4. リマン海流
- 問3 日本の河川は、大陸を流れる河川と比較して「長さが短く、傾斜が急である」という特色があります。このような地形的特徴により、降った雨が短時間で海まで流れ出てしまうことから、安定した水資源を確保したり水量を調節したりするために行われている工夫として最も適切なものはどれですか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
1. 河川の周辺にある森林をすべて伐採し、雨水が直接川へ流れ込むようにする。
 2. 上流部にダムを建設して、水を貯留し流量をコントロールする。
 3. 平野部に大規模なため池を多数設置し、主に工業用水として利用する。
 4. 河口付近に高い堤防を築き、海水の逆流を抑えて真水を確保する。
- 問4 新潟県上越市などの日本海側に位置する都市で見られる、降水量の推移の特徴を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 冬の気温が氷点下になるほど非常に低く、年間を通して降水量は控えめである。
 2. 夏は太平洋からの季節風の影響で降水量が多くなるが、冬は乾燥した晴天の日が続く。
 3. 季節風が山地に遮られるため、年間を通して降水量が比較的少なく、1,000mmを下回ることもある。
 4. 冬に北西の季節風の影響を受けるため、1月や12月の降水量が月間300mmを超えるなど、夏よりも冬に降水量が多い。
- 問5 冬の北西の季節風が吹くとき、日本海側では大雪となる一方で、関東地方などの太平洋側では乾燥した晴天の日が多くなります。このように太平洋側で乾燥した晴れの日が続く理由を、地形の影響に着目して説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
1. 大陸から吹く風が山脈に遮られるため、太平洋側には風そのものが届かなくなり、空気が滞留するため
 2. 太平洋側から吹き込む湿った季節風が、冬の強い寒気に触れることで雲を消滅させてしまうため
 3. 大陸からの冷たい風が日本海で水蒸気を蓄えたあと、山脈を越える際に日本海側に雪を降らせて水分を失うため
 4. 日本海側で雪を降らせた後の風が、太平洋の暖かい黒潮から湿った空気を取り込んで上昇気流を作るため
- 問6 日本列島の各地には様々な自然災害の記憶を留める石碑がありますが、特に東北地方の三陸海岸などの「沿岸部」に多く見られる、巨大な波による被害を伝える石碑の役割や特徴について、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 広島県公立入試 類似)
1. 台風による高潮の被害を防ぐため、堤防を設置すべき基準となる海拔を記録している
 2. 大雨による土砂災害から逃れるため、地盤が強い岩盤地域の範囲を住民に知らせている
 3. 過去の津波の到達地点を明示し、いざという時には高い場所へ避難するという教訓を伝えている
 4. 火山噴火に伴う火砕流の被害を避けるため、避難路となる道の分岐点を示している
- 問7 日本の気候区分のうち、瀬戸内地域の気候の特色を正しく説明しているものはどれか。なお、この地域は北側に中国山地、南側に四国山地が位置しているものとする。 (2019年 香川県公立入試 類似)
1. 一年を通じて降水量が多く、特に梅雨や台風の時期には湿った空気が流れ込み、大雨になりやすい。
 2. 冬は北西の季節風の影響で雪が多く、夏は太平洋高気圧の影響で乾燥して晴天が続く。
 3. 夏は南東の季節風により降水量が多くなり、冬は乾燥した晴天の日が続く。
 4. 年間を通じて降水量が少なく、温暖で晴天の日が多い。
- 問8 日本海側の気候の特徴について、冬季の降水量が太平洋側の都市と比較して多くなる理由を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
1. シベリア高気圧から吹き出す乾燥した風が、太平洋上で水分を得るため
 2. 梅雨前線の停滞により、長期間にわたって湿った空気が流れ込むため
 3. 南東からの湿った季節風が黒潮の影響を受けて、大雨をもたらすため
 4. 北西からの湿った季節風が山脈に当たり、雪をもたらすため
- 問9 河川が運んできた細かい砂や泥が、河口付近に積もってできる、平坦で低く湿った地形を何といいますか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. 扇状地
 2. カルデラ
 3. 三角州（デルタ）
 4. 台地
- 問10 長野県長野市と沖縄県那覇市の降水量と気温の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。那覇市の気温の変化を示す折れ線グラフは、長野市のものと比較して平坦な形状をしています。 (2024年 長野県公立入試 類似)
1. 那覇市はすべての月で降水量があり、気温の年較差が小さい。
 2. 長野市は冬の気温が那覇市よりも高く、気温の年較差が小さい。
 3. 長野市は一年中気温が一定であり、那覇市よりも年較差が小さい。
 4. 那覇市は冬に全く降水がなく、気温の年較差が非常に大きい。
- 問11 日本の森林において、適切な管理や手入れが停滞することでもたらされる課題について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
1. 手入れの行き届かない森林では、光合成が活発に行われるようになるため、二酸化炭素の吸収量が増大する。
 2. 林業従事者の減少は、木材自給率の劇的な向上をもたらし、地域の雇用問題を解決する要因となっている。
 3. 森林の整備が不十分になると、水源の涵養（かんよう）や国土保全といった機能が十分に発揮できなくなる。
 4. 森林整備の停滞は、良質な木材の供給を増やし、住宅建設のコストを大幅に下げる効果がある。
- 問12 月別の降水量の推移において、一月や二月の冬季でも降水量が減ることなく百五十ミリ前後の一定量を保っており、夏場の降水量と比べても遜色ない湿潤なデータを示す地点があります。このような気候の特徴を持つ地域として最も適切なものを選びなさい。 (2016年 愛知県公立入試 類似)
1. 北西の季節風の影響を強く受ける日本海側の地域
 2. 夏は南東の季節風により雨が多いが、冬は乾燥した晴天が続く太平洋側の地域
 3. 季節風が山脈に遮られるため、年間を通して降水量が少ない瀬戸内の地域
 4. 周囲を高い山に囲まれ、冬の冷え込みが厳しく降水量が少ない中央高地の地域